

MACF 礼拝説教要旨

2023年4月2日

「十字架上の7つの言葉」

受難週です。イエス様の十字架を思い巡らしつつ、十字架の上で語られた7つの言葉を取り上げたいと思います。

第1の言葉

34〔そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。」（ルカ 23:34）

午前9時に十字架につけられた時にイエス様が発したとされる最初の言葉です。

自らを十字架に追いやったすべての人たち、イエス様に反抗している人たち、神を神とせず

無礼な態度を改めようとしめない人たちすべてに関して、父なる神様に赦しを願うことばです。執り成しの言葉です。ここに「愛」があります。

第2の言葉

「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。（ルカ 23:43）

このエピソードは以下の通りです。

39 十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみる。」 40 すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れぬのか、同じ刑罰を受けているのに。 41 我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」

42 そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」と言った。 43 するとイエスは、「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。

イエス様はこの十字架の苦しみののちにどこに行くかご存知でした。苦しみ抜かれたのちに「楽園」（パラダイス）に行くということを知っていました。そして、隣にいた受刑者の一人に向かって「「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われたのです。

この人は、以前から信仰を持っていた人ではありません。十字架の上で苦しみながら罵り返すこともせず、ゆだねきっているイエス様を見て、何か感じるものがあり、イエス様に対する信頼、信仰を持ったのです。そして、苦しみの中でそれを表明しました。それに対するイエス様からの返答でした。どんなにか安心したことでしょう。

第3の言葉

「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」

「見なさい。あなたの母です。」

25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。26 イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。27 それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。（ヨハネ 19：26～27）

死の苦しみ、痛みの中でイエス様はお母さんのことを心に留めていました。

弟子のヨハネに母マリアを託したのです。イエス様の人間としての、あるいは息子としての母への思いを垣間見ることができます。最後まで息子としての意識をもって母を支援すべく思いをそこに向けていたことがわかります。

第4の言葉

34 三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。（マルコ 15：34）（マタイ 27:46）

それまでイエス様は「神さま」に対して「父」という言葉を用いていました。

この十字架での午後3時頃の大声での叫びは「父」ではなく「我が神」という表現になっています。十字架の上での最初の言葉は「父よ」でした。ここでは「我が神」となっています。詩編 22 の言葉を引用したのではないかとされていますが、大声でそれを叫んでいることから、たとえ引用だとしても、単なる引用ではなく、自らの出来事として語ったに違いない叫びです。

すなわち「父と子」という関係ではなく「罪人総代表と聖なる神」との向き合いの中で苦しみを表明しているものと理解されています。神様の清さをご存知だからこそ

「十字架で罪あるものとして受けている苦難」の深い痛みを感じておられたにちがいありません。裁かれる側に立っているイエス様の叫びです。

第5の言葉

「渇く」

28 この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渇く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。29 そこには、酸いぶどう酒を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソブに付け、イエスの口もとに差し出した。（ヨハネ 19：28）

ここに書かれている聖書の言葉が実現したと言われている箇所は
詩編 22:16

口は渴いて素焼きのかけらとなり、舌は上顎にはり付く。

あなたはわたしを塵と死の中に打ち捨てられる。

詩編 69:22 人はわたしに苦いものを食べさせようとし

渴くわたしに酢を飲ませようとしています。

詩編 42:3 神に、命の神に、わたしの魂は渴く。

いつ御前に出て

神の御顔を仰ぐことができるのか。

です。

私たちのために打たれ、苦しめられ、これらの渴きをイエス様は通過されました。その心の

渴き、神との断絶による渴きは、私たちの想像をはるかに超える苦しみだったに違いあり

ません。

第6の言葉

「成し遂げられた」

28 この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渴く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。 29 そこには、酸いぶどう酒を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソブに付け、イエスの口もとに差し出した。 30 イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

預言の完了という意味だけでなく、ご自身の十字架での役割の終了も意味する言葉と理解することができるでしょう。イエス様がお生まれになる前にその役割が預言されていました。マタイによる福音書 1 章 21 節

「マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」まさに民を罪から救うための「あがない」としての十字架の役割が完了し成し遂げられたのです。

第7の言葉

イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。(ルカ 23:46)

順序としては第6の言葉と続けて語られたものだと思います。

最終的には自らのすべてを父なる神におゆだねし、お任せして地上でのいのちが終わりました。

この十字架の出来事と、その言葉の中に「イエス様の愛」が私たちに届けられているとうなづけたとき、十字架は本当に意味深いものになります。神のひとり子イエス様が、まさに、この苦難をわたしたちとともに、わたしたちのために通過するためにこそきてくださったと聖書は教えているからです。

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/zRJCJCGeoSw>

* MACF の礼拝は来週も再来週も OCC 8F で開催されます。開始は 10 時です。

** バイブルワークショップ & メディテーションは 4 月 7 日に開催されます。午前 10 時と午後 8 時からです。

*** いつも大きな支援といのり、献金を心から感謝します。